

大学自己評価部会だより

第39号 (平成26年7月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

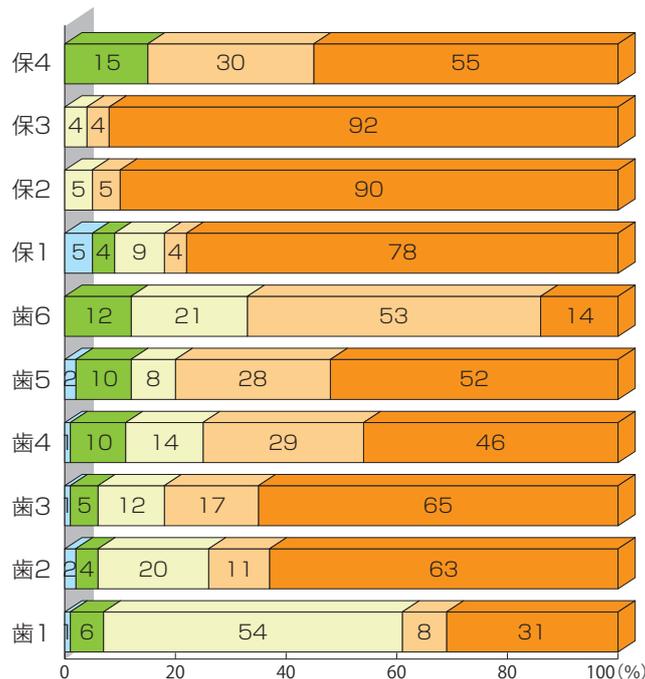
アンケートの調査結果を報告します

歯学科、口腔保健学科を対象としたアンケートから、アルバイト、奨学制度、学生のニーズの把握について報告します。

① H25年度のアルバイトの現状

学科や学年によって状況が大きく異なりますが、歯学科(歯1～6年)の方が口腔保健学科(保1～4年)より、アルバイトをしている学生の割合が少ない傾向にあります。

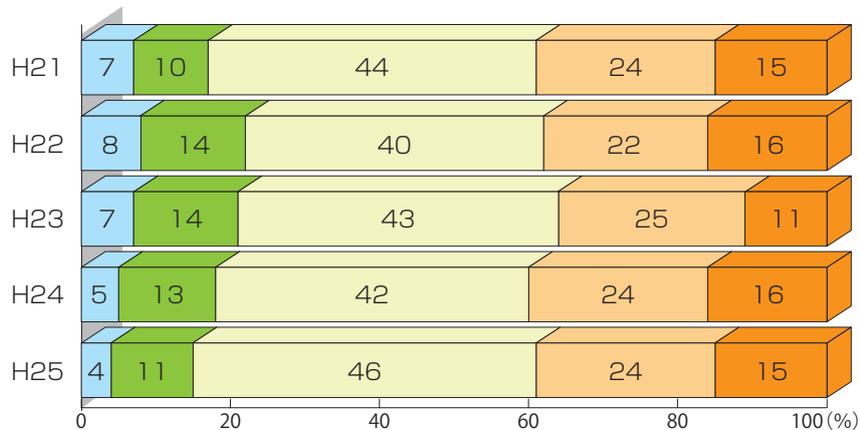
本学に入学してアルバイト
をしているか。
あるいはこれからしたいと
考えているか。



② 奨学制度について

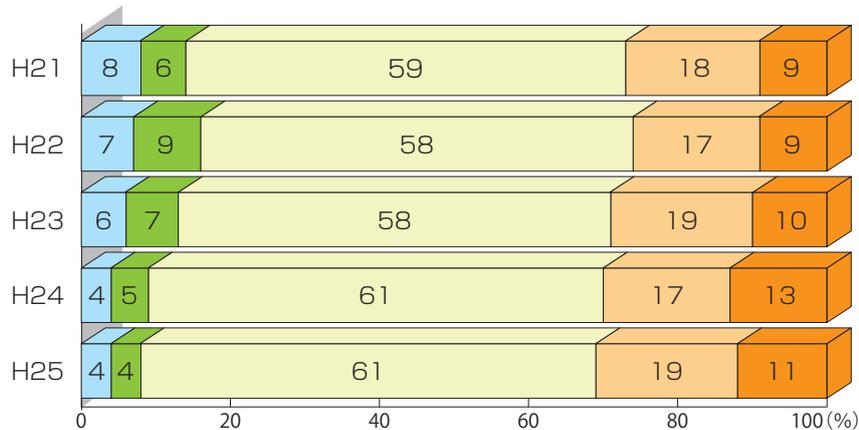
奨学制度について「全く知らない」学生が徐々に減り、どちらかという「充実していると思わない」学生の割合も減少傾向にあります。

奨学制度を知っているか



- よく知っている
- 一部知っている
- 聞いたことがある
- 全く知らない
- 知る必要がない

奨学制度は充実していると思うか



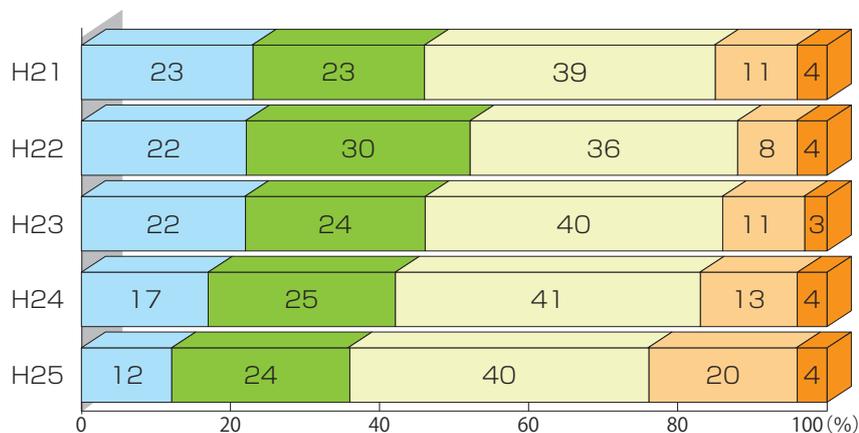
- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

③ 学習面でのニーズの把握

大学では、学生の要望に応え、H25年度から定期試験前と試験期間中は自習スペースを拡充しています。そのこともあって、大学が学生のニーズを把握していると思う学生が増えました。



大学は学習面のニーズを把握しているか



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

大学自己評価部会だより

第40号 (平成26年8月)

大学の理念

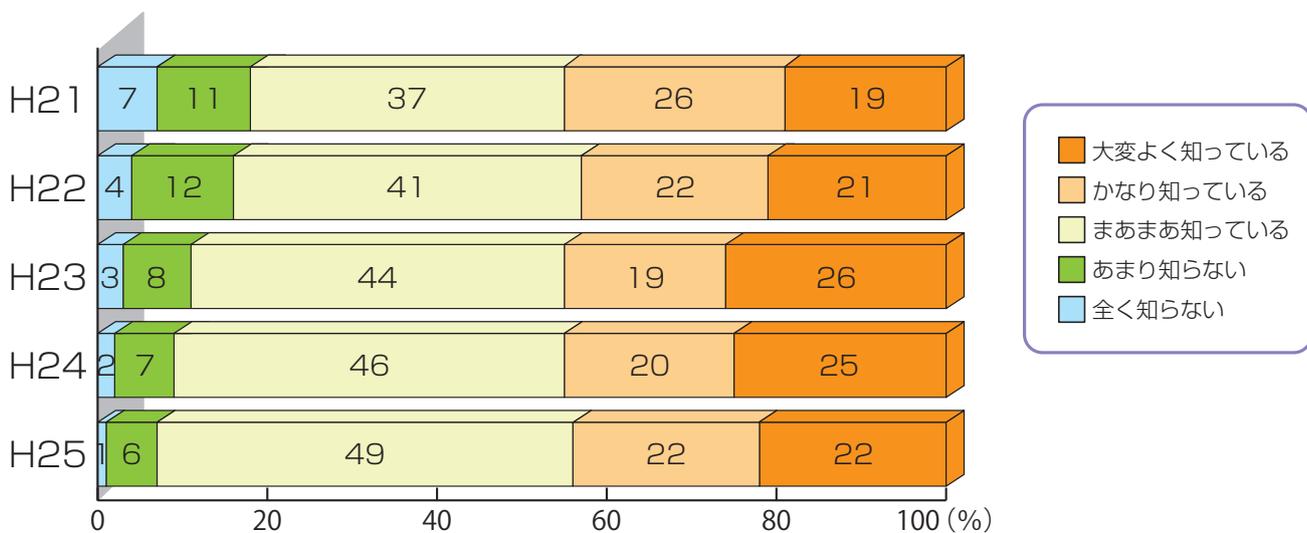
1. 高度な専門性を持った歯科医療人の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

アンケートの調査結果を報告します

学部学生を対象とした大学理念の周知度、講義、実習および大学教育への満足度を平成21年度～平成25年度で比較しました。

① 大学理念の周知度

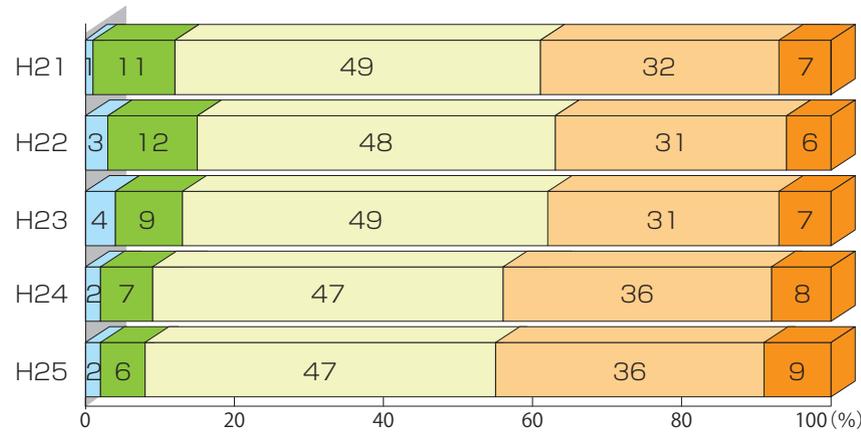
大学理念の周知度は、これまでの傾向と同様に(全く知らないおよびあまり知らないの割合)の減少が認められています。平成25年度は特に全く知らない割合はついに1%となりました。しかし大変よく知っている割合は、平成25年度は平成24年度に比べてわずかに減少しています。皆さん、さらなる大学理念の周知向上を目指して頑張りましょう!!



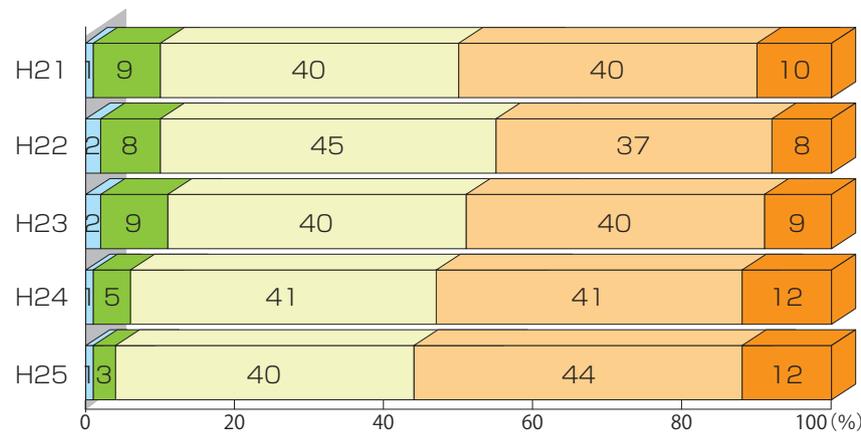
② 講義、実習の満足度

平成25年度は、平成24年度に比べて講義の満足度はほぼ同様でしたが、実習の満足度(少し高いの割合)の増加が認められました。それにともない(少し低い)の減少も認められました。

講義の満足度

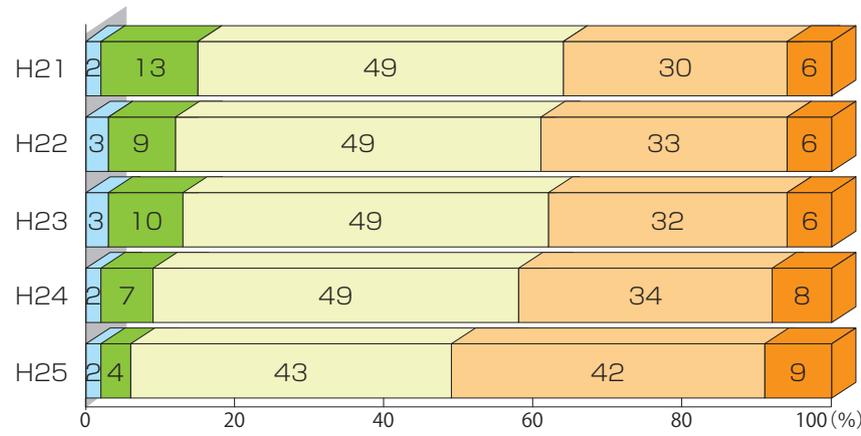


実習の満足度



③ 大学教育への満足

大学教育への満足度は平成25年度は24年度と比べて(高いおよび少し高いの割合)の増加と(低いおよび少し低い割合)の減少が認められました。今度とも大学教育の満足度が增加するように教育改善の努力を続けていかなければなりません。



大学自己評価部会だより

第41号 (平成26年9月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

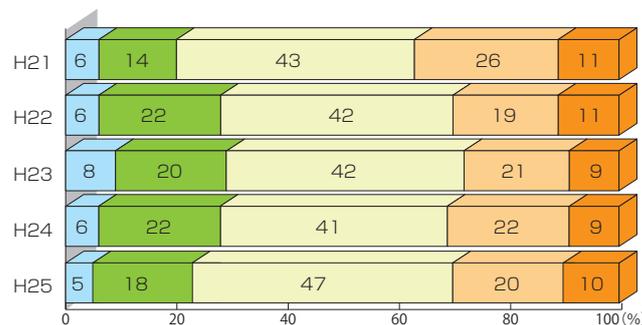
アンケート調査結果を報告します

学部学生を対象とした図書館関連施設、IT関連施設、体育関連施設等の満足度を平成21～25年度の各年度で比較しました。

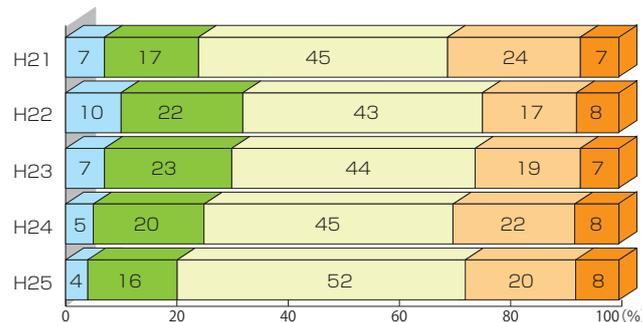
① 図書館関連の満足度

図書館の図書の満足度について、平成22年度から平成25年度にかけて、(あまり満足していない、および全く満足していないの割合)の減少が認められました。今後は図書館での学習環境の満足度が上昇するように、改善を進めていかなくてはなりません。

図書館での
学習環境の
満足度



図書の
満足度



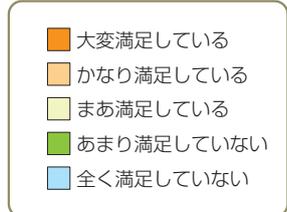
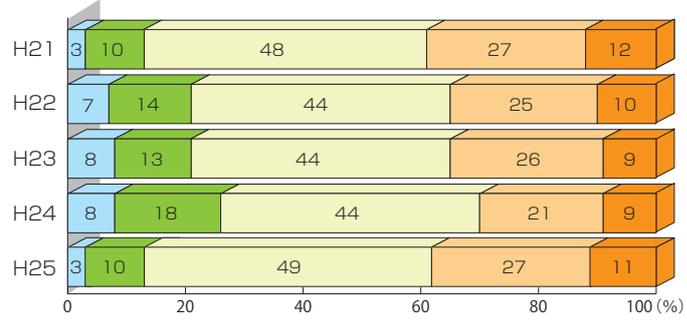
■ 大変満足している
■ かなり満足している
■ まあ満足している
■ あまり満足していない
■ 全く満足していない



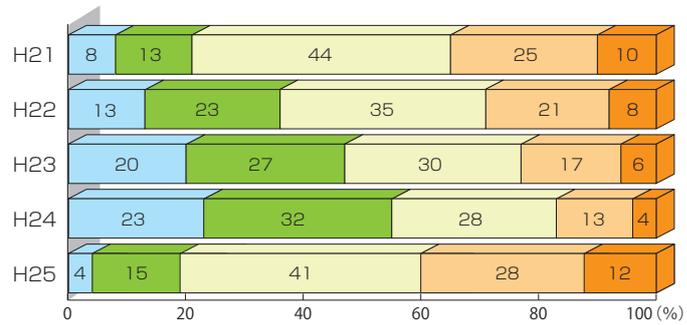
② IT関連施設等の満足度

平成24年度から平成25年度にかけて、パソコンについて(大変満足している、およびかなり満足している割合)の著しい増加が認められました。これは昨年度にパソコンの更新が行われた結果だと考えられました。

コンピューター演習室の満足度



パソコンの満足度

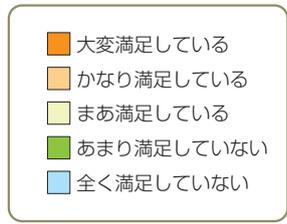
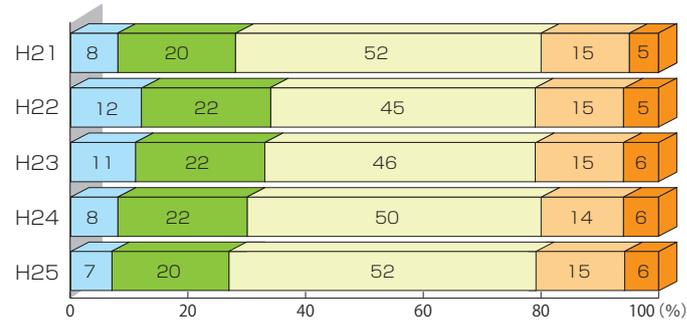


③ 体育関連施設の満足度

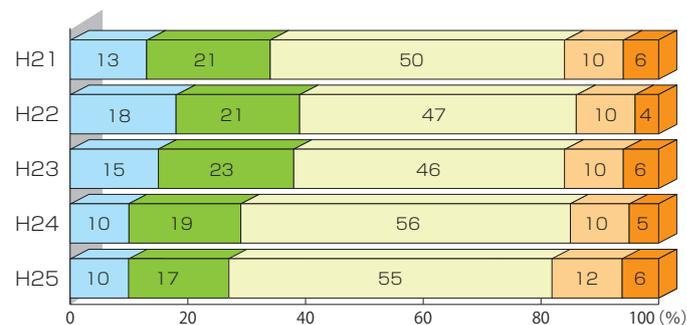
平成22年度から平成25年度にかけて、体育館およびグラウンドについて(あまり満足していない、および全く満足していないの割合)の減少が認められました。



体育館の満足度



グラウンドの満足度



大学自己評価部会だより

第42号 (平成26年11月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、質の高い教養教育と専門教育を学生に提供し、患者さん中心の医療を実践できる人材を育成します。この基本的な理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行っています。

- (1) 新たな時代に対応できる柔軟な判断力と問題の自己解決能力を有する創造的医療人を育成する。
- (2) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する医療人を育成する。
- (3) 高度な専門性を有する歯科医療人を育成し、高度先進医療の拠点病院としての機能を強化する。
- (4) 歯科医学を支える研究を推進するとともに、地域社会と連携した研究を展開する。
- (5) 国際社会に貢献できる人材の育成と交換留学生の受け入れを促進し、アジア太平洋地域の歯科教育研究機関との連携を強化する。

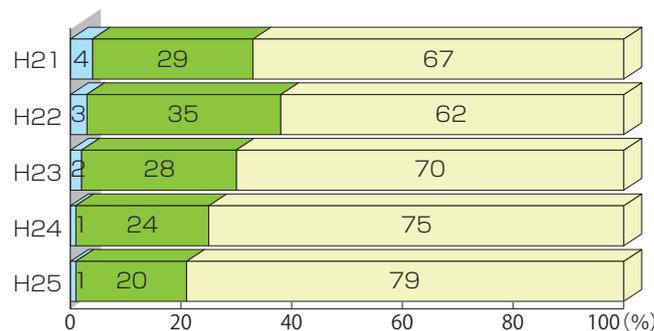
アンケートの調査結果を報告します

心身の健康に関する相談室の認知度、自主学習の場所と時間に関する状況および生活面でのニーズの把握の満足度について、平成21年度～平成25年度の5年間を比較しました。

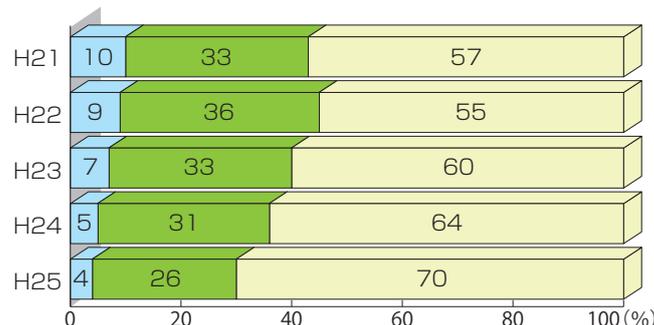
① 健康に関する相談室の認知度

健康管理室とカウンセリング・ルームの認知度は、両施設とも毎年高く、その存在は良く知られています。さらに、「知らない」割合はこの5年間次第に減少してきています。平成25年度に1回以上利用した人の割合は、健康管理室が51.0%、カウンセリング・ルームが14.6%でした。

本学に
健康管理室があるのを知っていますか。



本学に
カウンセリング・ルームがあるのを知っていますか。



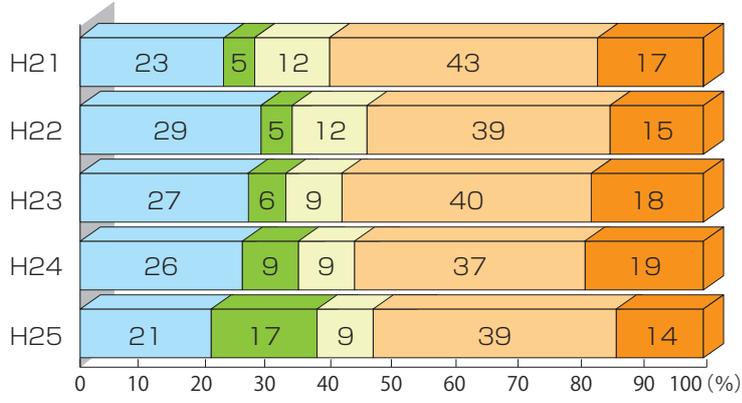
■ 知っている
■ 何となく知っている
■ 知らない



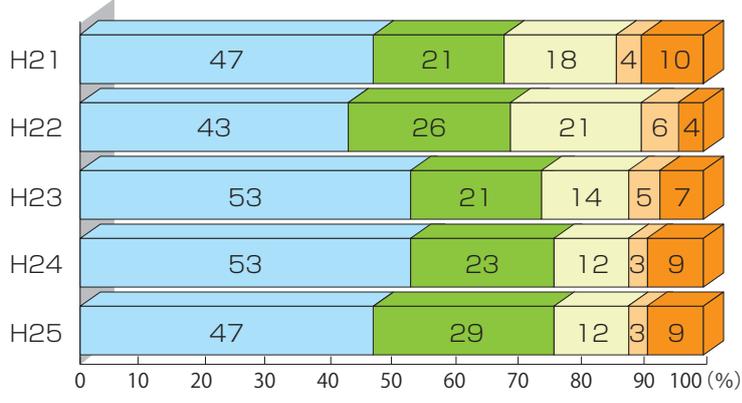
② 自主学習の場所と時間

平成25年度から、自主学習の場所の選択肢の中の「歯科大学の自習室」を「学生食堂」に変更しました。これまでの自習室に比べ、学生食堂の利用率の高さが伺えます。その他の場所には、大きな違いはないようです。学習時間は、年による変動がほとんどなく、1日に1時間未満の割合が約半数を占めています。しかし、6年生だけだと約60%が4時間以上です。

土日・祝祭日など、
 大学が休みの時の
 自主学習は主に
 どこを利用しますか。



試験勉強を除く
 あなたの自主学習
 時間は、1日平均
 何時間ですか。



③ 生活面でのニーズの把握に関する満足度

平成23年度まで「思わない」の割合が35%以上でしたが、平成24・25年度と減少し、平成25年度には「どちらかといえばそう思う」が増加しました。今後もニーズの把握と改善に努めていく必要があります。

本学として、
 生活面での皆さんの
 ニーズを適切に把握し
 ていると思いますか。

